

登録ID	規則番号	規則枝番号	規則概要	規則内容	アマ特別規則等	社会人	大学	高校	全軟一般	全軟少年	全軟学童
	共通		【共通】保護具の商標表示等の規定一覧（JABA/JUBF/JHBF/JSBB 4 団体 2024 年 2 月 19 日現在） 手袋・リストバンド・サポーター・アームスリーブ・レッグガード・エルボーガード・手甲ガード・リストガード・ネックウォーマー・走塁ガード&手袋・フィンガープロテクター								
202501	3.02 バット	(a) (b)	<ul style="list-style-type: none"> バット材質 着色バットの取り扱い 	<p>3.02 バット</p> <p>(a) 【注2】アマチュア野球では、各連盟が公認すれば、金属製バット、木片の接合バットおよび竹の接合バットの使用を認める。ただし、接合バットについては、バット内部を加工したものは認めない。(6.03a5参照)</p> <p>(d)着色バットの取り扱い</p> <p>【注2】アマチュア野球では、所属する連盟、協会の規定に従う。</p>		日本野球連盟（社会人野球連盟）内規（2024.12.12）	大学野球の用具ならびにマナーに関する規則	2025年度高校野球用具の使用制限（特別規則1）	用具・装具の規定（連盟規程細則第12条）	学童部のバットの使用制限について	
202502	3.03 ユニフォーム	(j)	<ul style="list-style-type: none"> 宣伝、広告に類する布切れまたは図案について 	<p>ユニフォームのいかなる部分にも、宣伝、広告に類する布切れまたは図案をつけてはならない。</p> <p>【注2】アマチュア野球では、所属する連盟、協会の規定に従う。</p>					ユニフォーム等への宣伝広告掲出に関する取扱いについて		
202503	3.03 ユニフォーム	(k)	<ul style="list-style-type: none"> 背中の氏名表示について 	<p>リーグは、所属するチームのユニフォームの背中にプレイヤーの名前をつけるように規定することができる。プレイヤーの姓以外の他の名前をつける場合は、リーグ会長の承認を必要とする。名前をつけることが決定した場合は、チーム全員のユニフォームにつけなければならない。</p> <p>【注】アマチュア野球では、所属する連盟、協会の規定に従う。</p>		ユニフォーム等への宣伝広告に関する取扱い要領	大学野球の用具ならびにマナーに関する規則	2025年度高校野球用具の使用制限（特別規則2も参照）	用具・装具の規定（連盟規程細則第12条）		
202504	3.07 投手のグラブ	(a)	<ul style="list-style-type: none"> グラブの色彩 	<p>投手のグラブは縁取りを除き白色、灰色以外のものでなければならない。審判員の判断によるが、どんな方法であっても幻惑させるものであってはならない。</p> <p>守備位置に関係なく、野手はPANTONE®の色基準14番よりうすい色のグラブを使用することはできない。</p> <p>【注】アマチュア野球では、投手のグラブについては、縁取り、しめひも、縫い糸を除くグラブ本体（捕球面、背面、網）は1色でなければならない。</p>					グラブの取り扱いの改訂について（2024年2月改訂）		

登録ID	規則番号	規則枝番号	規則概要	規則内容	アマ特別規則等	社会人	大学	高校	全軟一般	全軟少年	全軟学童
202505	3.08 ヘルメット	(a)~(e)	・ヘルメットの使用	プロフェッショナルリーグでは、ヘルメットの使用について、次のような規則を採用しなければならない。(以下 省略) 【3.08注】アマチュア野球では、所属する団体の規定に従う。		両耳フラップヘルメット (SGマーク付) のものしか使用できない。	両耳フラップヘルメット (SGマーク付) のものしか使用できない。	両耳フラップヘルメット (SGマーク付) のものしか使用できない。(特別規則3)	一般チームの打者、次打者、走者は 両側か片側 にイヤーフラップのついたもの。(SGマーク付)	少年・学童部はすべて 両側 にイヤーフラップのついたものとする。(SGマーク付)	
202506	3.09 商業的 宣伝		・競技用具への商業的宣伝 (ベース、投手板、ボール、バット、ユニフォーム、ミット、グラブ、ヘルメットその他の競技用具)	ベース、投手板、ボール、バット、ユニフォーム、ミット、グラブ、ヘルメットその他本規則の各条項に規定された競技用具には、それらの製品のための不相当かつ過度な商業的宣伝が含まれてはならない。・・・(略)・・・ 本条は、プロフェッショナルリーグだけに適用される。 【注4】本条は、アマチュア野球でも適用することとし、所属する連盟、協会の規定に従う。		ユニフォーム等への宣伝広告に関する取扱い要領	大学野球の用具ならびにマナーに関する規則	2025年度高校野球用具の使用制限 (特別規則2も参照)	ユニフォーム等への宣伝広告掲出に関する取扱いについて		
202507	4.07 安全対策	(a)(b)	・競技場内の秩序	(a)試合中は、ユニフォームを着たプレーヤーおよびコーチ、監督、ホームチームによって公認されている報道写真班、審判員、制服を着た警官、ならびにホームチームの警備員、その他の従業員のほかは、競技場内に入ってはならない。(以下 略) 【注2】アマチュア野球では、ホームチームに代わって大会主催者、連盟などがその責にあたる。		連盟	連盟	連盟	連盟		

登録ID	規則番号	規則枝番号	規則概要	規則内容	アマ特別規則等	社会人	大学	高校	全軟一般	全軟少年	全軟学童
202508	5.04 打者	(b) (4)(A)	・バッターボックスルール	打者は打撃姿勢をとった後は、次の場合を除き、少なくとも一方の足をバッターボックス内に置いていなければならない。 この場合は、打者はバッターボックスを離れてもよいが、 ”ホームプレートを囲む土の部分、を出てはならない。 (・・・略・・・) 当該試合におけるその打者の最初の違反に対しては球審が警告を与え、その後違反が繰り返されたときにはリーグ事務局が然るべき制裁を科す。 【注】我が国では、所属する団体の規定に従う。		各連盟規程2025ピッチクロック関連に記載					
202509	5.10 プレーヤーの交代	(b)	・ダブルスイッチ	監督は、プレーヤーの交代があった場合には、ただちにその旨を球審に通告し、あわせて打撃順のどこに入るかを明示しなければならない。(・・・略・・・) ダブルスイッチ(投手交代と同時に野手も交代させて、打撃順を入れ替える)の場合、監督はファウルラインを越える前に、まず球審に複数の交代と入れ替わる打撃順を通告しなければならない。 (・・・略・・・) 【注】我が国では、本項〔原注〕の`ダブルスイッチ、以下の段については、所属する団体の規定に従う。		公認規則適用	公認規則適用	適用無	公認規則適用	公認規則適用	公認規則適用
202510	5.10 プレーヤーの交代	(k)	・ベンチあるいはダッグアウトに入れることができる者	・・・略・・・ プレーヤー、監督、コーチ、トレーナーおよび試合中にベンチやブルペンに入ることを許されたクラブ関係者は、実際に競技にたずさわっているか、競技に出る準備をしているか、その他許される理由以外で、競技場に出ることはできない。 【注2】ベンチあるいはダッグアウトに入ることのできる者に関しては、プロ野球では各リーグの規約によって定め、アマチュア野球では協会、連盟ならびに大会などの規約に基づいて定められている。		部長・副部長監督・コーチ・マネージャー選手20名以上	部長・監督・助監督・監督以外の指導者3人・コーチ・マネージャー選手25名	監督30番 全国大会18名 地方大会20名 と部長・マネージャー・スコアラ	監督30番 コーチ29番28番を含む選手10名以上25名以内と代表者・マネージャー・スコアラ・トレーナー(有資格者)各1名 必携P6	監督30番 コーチ29番28番および選手25名以内と代表者・マネージャー・スコアラ・トレーナー(有資格者)各1名 必携P37	

登録ID	規則番号	規則枝番号	規則概要	規則内容	アマ特別規則等	社会人	大学	高校	全軟一般	全軟少年	全軟学童
2025 11	5.10 プレー ヤーの 交代	(ℓ)	・ 1 イニングに監督・ コーチがマウンドに行け る回数	プロフェッショナルリーグは、監督またはコーチが投手のもとへ行くことに関して、次の規則を適用しなければならない。 (1) この項は、監督またはコーチが、1イニングに同一投手のもとへ行ける回数を制限する規則である。 (2) 監督またはコーチが、1イニングに同一投手のもとへ2度目に行けば、その投手は自動的に試合から退かなければならない。 (以下 略) 【注5】アマチュア野球では、本項については、所属する団体の規定を適用する。		1試合(9イニング)の回数：3回以内 延長回(タイブレーク含む)：規則適用 打合せ時間：45秒以内 5.10(ℓ) (2)は適用	1試合(9イニング)の回数：3回以内 延長回(タイブレーク含む)：規則適用 打合せ時間：45秒以内 5.10(ℓ) (2)は適用	— 監督の指示を伝える伝令 1試合(9イニング)の回数：3回以内 延長回(タイブレーク含む)：1イニングに1回 打合せ時間：30秒以内 5.10(ℓ) (2)は適用しない	1試合(9イニング)の回数：3回以内 延長回(タイブレーク含む)：1イニングに1回 打合せ時間：1分以内 5.10(ℓ) (2)は適用しない	(監督に限る) 1試合(7イニング)の回数：3回以内 延長回(タイブレーク含む)：1イニングに1回 打合せ時間：1分以内 5.10(ℓ) (2)は適用しない	(監督に限る) 1試合(6イニング)の回数：3回以内 延長回(タイブレーク含む)：1イニングに1回 打合せ時間：1分以内 5.10(ℓ) (2)は適用しない
2025 12	5.10 プレー ヤーの 交代	(m) (1)~(4)	・ 1試合にマウンドに行く 回数の制限	(1) 投手交代を伴わないでマウンドに行くことは、9イニングにつき1チームあたり4回に限られる。延長回については、1イニングにつき1回、マウンドに行くことができる。 (以下 略) 【注】我が国では、(m)項については、所属する団体の規定に従う。		1試合(9イニング)の回数：3回以内 延長回(タイブレーク含む)：規則適用 打合せ時間：45秒以内	1試合(9イニング)の回数：3回以内 延長回(タイブレーク含む)：規則適用 打合せ時間：45秒以内	— 監督の指示を伝える伝令 1試合(9イニング)の回数：3回以内 延長回(タイブレーク含む)：1イニングに1回 打合せ時間：30秒以内	1試合(9イニング)の回数：3回以内 延長回(タイブレーク含む)：1イニングに1回 打合せ時間：1分以内	(監督に限る) 1試合(7イニング)の回数：3回以内 延長回(タイブレーク含む)：1イニングに1回 打合せ時間：1分以内	
2025 13	5.11 指名打者	(a) (1)~(15) (b)	・ 指名打者の規定	(a)指名打者ルールは次のとおりである。 (1) 先発投手または救援投手が打つ番のときに他の人が代わって打っても、その投球を継続できることを条件に、これらの投手に代わって打つ打者を指名することが許される。(・・・略・・・) 【5.11注】我が国では、指名打者ルールについては、所属する団体の規定に従う。		○	○	×	○	○ 2刀流無	○ 2刀流無

登録ID	規則番号	規則枝番号	規則概要	規則内容	アマ特別規則等	社会人	大学	高校	全軟一般	全軟少年	全軟学童
2025 14	6.01 妨害・ オブストラクシ ョン・本塁 での衝突	(i) (2)	・本塁での衝突	捕手がボールを持たずに得点しようとしている走者の走路をブロックすることはできない。もし捕手がボールを持たずに走者の走路をブロックしたと審判員が判断した場合、審判員はその走者にセーフを宣告する。(・・・略・・・) 【注】我が国では、本項の(1)(2)ともに、所属する団体の規定に従う。		○	○	○	○	○	○
2025 15	6.01 妨害・ オブストラクシ ョン・本塁 での衝突	(j)	・併殺を試みる塁へのスライディング	走者が併殺を成立させないために、“正しいスライディング”をせずに、野手に接触したり、接触しようとするれば、本条によりインターフェアとなる。(・・・略・・・) 【注】我が国では、所属する団体の規定に従う。		アマ内規⑩ 適用	アマ内規⑩ 適用	アマ内規⑩ 適用	アマ内規⑩ 適用		
2025 16	6.02 投手の 反則行為	(c) (7)	・投手の禁止事項	投手は次のことを禁じられる。 ・・・略・・・ 【原注】投手は、いずれの手、指または手首に何もつけてはならない(たとえば救急ばんそうこう、テープ、瞬間接着剤、ブレスレットなど)。審判員が異物と判断するかしないか、いずれの場合も、手、指または手首に何かをつけて投球することを許してはならない。 【注】我が国では、本項〔原注〕については、所属する団体の規定に従う。		○	○	特別規則18	試合中の禁止事項5 必携P52		

登録ID	規則番号	規則枝番号	規則概要	規則内容	アマ特別規則等	社会人	大学	高校	全軟一般	全軟少年	全軟学童
2025 17	6.02 投手の 反則行為	(c)(8)	・投手の禁止事項	<p>打者がバッタースボックスにいるときに、捕手以外の野手に送球して、故意に試合を遅延させること。ただし、走者をアウトにしようと企てる場合は除く。</p> <p>ペナルティ 審判員は1度警告を発し、しかもなお、このような遅延行為が繰り返されたときには、その投手を試合から除く。</p> <p>【注2】アマチュア野球では、本項ペナルティの後段を適用せず、このような遅延行為が繰り返されたときは、ボールを宣告する。</p>		【注2】適用	【注2】適用	【注2】適用	【注2】適用		
2025 18	6.02 投手の 反則行為	(d)	・投手の禁止事項の ペナルティ	<p>ペナルティ 投手が(c)項(2)～(7)に違反した場合、球審は次のような処置をしなければならない。</p> <p>(1) 投手はただちに試合から除かれ、自動的に出場停止となる。</p> <p>(2) 球審が違反を宣告したにもかかわらずプレイが続けられたときには、攻撃側の監督は、そのプレイが終わってからただちにそのプレイを生かす旨、球審に通告することができる。</p> <p>(・・・略・・・)</p> <p>【注】アマチュア野球では、本項のペナルティを適用せず、1度警告を発した後、なおこのような行為が継続されたときには、その投手を試合から除く。</p>		【注】適用	【注】適用	【注】適用	【注】適用		
2025 19	7.01 正式試合	(b) (1)(2)	・延長回の取り扱い	<p>(1) 両チームが9回の攻撃を完了してなお得点が等しいときは、さらに回数を重ねていき、</p> <p>(A) 延長回の表裏を終わって、ビジティングチームの得点がホームチームの得点より多い場合</p> <p>(B) ホームチームが延長回の裏の攻撃中に決勝点を記録した場合に試合は終了する。</p> <p>(2) 9回が完了した後、10回以降は、走者二塁から、次のとおり始めることとする。(・・・略・・・)</p> <p>【注】我が国では、所属する団体の規定に従う。</p>		内規7	社会人内規7 に準拠	特別規則23	競技に関する特別規則2延長戦適用 必携P34	競技に関する特別規則2延長戦適用 必携P46	競技に関する特別規則2延長戦適用 必携P41

登録ID	規則番号	規則枝番号	規則概要	規則内容	アマ特別規則等	社会人	大学	高校	全軟一般	全軟少年	全軟学童
2025 20	7.01 正式試合	(c)	・天候、フィールドまたは球場のコンディション、設備（開閉式屋根、防水シートなど）の故障または意図しない操作ミス	(c) 球審もしくはリーグ事務局は、天候、フィールドまたは球場のコンディション、設備（開閉式屋根、防水シートなど）の故障または意図しない操作ミス、大気の状態、外出禁止令、電気または照明の喪失、地域や国家の緊急事態、災害や政府の規制、暗闇、ファンおよび選手を含むチーム関係者と球場職員の健康と安全、または試合の安全な実施と継続を妨げる異常事態のために、試合を延期または中止することができる。 【注】我が国では、所属する団体の規定に従う。		内規5.6	社会人内規5.6に準拠	特別規則22	競技に関する特別規則4特別継続試合適用 必携P35	競技に関する特別規則4特別継続試合適用 必携P47	競技に関する特別規則4特別継続試合適用 必携P42
2025 21	7.01 正式試合	(d) (1)~(3)	・(d)コールドゲームが次に該当する場合、正式試合	(d)コールドゲームが次に該当する場合、正式試合となる。 (1) 5回の表裏を完了した後に、打ち切りを命じられた試合。（両チームの得点の数には関係がない） (2) 5回表を終わった際、または5回裏の途中で打ち切りを命じられた試合で、ホームチームの得点がビジティングチームの得点より多いとき。 (3) 5回裏の攻撃中にホームチームが得点して、ビジティングチームの得点と等しくなっているときに打ち切りを命じられた試合。 【注2】我が国では、所属する団体の規定に従う。		内規5	社会人内規5に準拠	特別規則20	競技に関する特別規則1正式試合適用 必携P33	競技に関する特別規則1正式試合適用 必携P46	競技に関する特別規則1正式試合適用 必携P41
2025 22	7.02 サスペンデッドゲーム	(a)~(f)		(a)ポストポンドゲーム（開始前に中止、延期された試合）やサスペンデッドゲーム（以下の状況で打ち切られた試合）は、開始または再開して完了できるよう、直ちに予定されなければならない。 (1) 正式試合となる前。 (2) 両チームの得点が等しい。 (3) イニングの途中で、（・・・以下 略・・・） 【7.02注】我が国では、所属する団体の規定に従う。		内規6	社会人内規6に準拠	特別規則20	競技に関する特別規則1正式試合適用 必携P33	競技に関する特別規則1正式試合適用 必携P46	競技に関する特別規則1正式試合適用 必携P41